



農作物と料理の 作り手をつなぐ交流会

2月10日、「食をつなぐ交流会」をてんこもり農産物直売所周辺で行いました。

この交流会は、農家育成や新規就農者の確保などを目的とする「緑の朝市コンシェルジュ事業」の一環で、市内の農産物生産者などと岐阜、名古屋圏の流通業者、飲食店経営者などが参加。農産物の紹介や試食会、意見交換会などを行い、飲食店経営者からは「野菜の仕入先を探しているが、山県にはさまざまな作物があるのがわかったので、検討していきたい」などの意見がありました。

ふるさとの宝を 未来へ伝えるために



2月21日、花咲きホールで「山県市無形民俗文化財調査の中間報告会及び重要無形民俗文化財舞台公演会」が行われ、約200人が中間報告の経過と成果を傾聴したり市重要無形民俗文化財の舞台公演を楽しんだりしました。

報告会では、市民民俗文化財調査専門委員会から「調査から見えてきた民俗芸能・行事の特徴」と題し、地域の伝統行事などの報告がありました。

また公演会では、各保存会が太鼓や踊りを披露したり作法などの説明をしたりし、参加者は文化財の意義や魅力をあらためて感じているようでした。

高速道路はたくさん 人や機械で作られる

2月16日、西深瀬で行われている東海環状自動車道高富インターチェンジ（仮称）付近の工事現場を、富岡小学校の児童や保護者が見学しました。この見学会は工事施工業者が主催したもので、参加者は工事の説明を受けた後、実際に稼働している重機などを見学。計測点を自動追尾する測距器や地下2メートルまで土にセメントを混ぜ込む重機を見学した児童たちは、「ハイテクでびっくりした」「（重機が）大きくてカッコいい」と楽しそうに話しました。



不思議だね 綿が糸になっていく



2月27日、みやまジョイフル倶楽部で「地域で学ぶ、餅つきと昔遊び体験」が行われました。

この行事は、子どもや保護者が地域のお年寄りから昔の生活道具の使い方や遊びを教してもらい交流を図ることが目的で、里山再生委員会と教育委員会が共催しました。子どもたちは糸車など昔の道具を体験。また、つきたての餅が振る舞われたりコマや竹馬などの昔の遊びを楽しんだりしました。

「綿が勝手に絡まって糸になっていくのが不思議」と真剣に糸車を回す子どもたち。楽しい一日を過ごしたようでした。

スマートフォンで 防災力の向上を



(一社)全国防災共助協会との「減災を目的とした防災ARシステムの運用に関する協定」の締結式を、2月17日に行いました。

この協定は、災害時に避難所へ誘導するスマートフォン向け無料防災アプリ「みたちょ」を運用する協会に対し、市が最新の避難所情報を提供したりアプリを広報したりすることで、より正確な情報を基に市民が避難できる環境整備を目的にしています。

締結式では実際に市長がアプリを使用し、「シンプルでわかりやすい。若い世代にも広めたい」と話しました。

稲作、畜産農家 双方にメリット



2月9日、市役所で「稲作・畜産農家の連携・協力に関する協定」締結式が行われました。

この協定は、堆肥を活用して飼料米の流通を増やし互いの経営安定化を図ることが目的です。締結式には市地域農業再生協議会の宇野敏勝会長と市畜産振興クラスター協議会の橋枝雄太会長、ぎふ農業協同組合の栗本斛朗代表理事専務が協定書に押印しました。

山口誠二さん 100歳を迎える



2月8日、山口誠二さんが100歳の誕生日を迎えました。

山口さんは、自宅の木製の建具を製造して生計を立て、70歳から約2年前までゲートボールを楽しむ健康を維持してきました。

長寿の秘けつは「心配してよくよいしないこと」という山口さん。自宅の庭の草むしりをしたり昨年は伊勢へ旅行したりするなど毎日を活動的に生活しています。

地上デジタル放送 12chの チャンネルCCN

毎日1回15分間放送

毎週月曜日	19:00~19:15
毎週火曜日	18:15~18:30
毎週水曜日	12:00~12:15
毎週木曜日	20:30~20:45
毎週金曜日	12:30~12:45
毎週土曜日	11:15~11:30
毎週日曜日	9:45~10:00

地上デジタル放送 11chの チャンネルCCN

毎日1回15分間放送
8:30~8:45

なお、上記スケジュールは予告なく変更される場合があります。

山 県 市 広 報 番 組

企画財政課 Tel.22-6825

今月の放送内容はこちら。

- 「空家対策」を紹介します。
- 「元気もりもり!やまがたっ子」では、「高富保育園」を紹介します。

リポーターの
伊藤由美子です。

清流と緑のまち
やまがた

画像提供：CCN